

# 効率的なDLPポリシー管理のためのMLベースのドキュメント分類の使用

## 内容

---

## はじめに

このドキュメントでは、MLベースのドキュメント分類を使用して、データ損失防止(DLP)ポリシー管理を簡素化および強化する方法について説明します。

## 概要

MLドキュメントの分類により、コンテンツの照合が向上し、DLPポリシー管理が容易になります。事前にトレーニングされた定義済みのドキュメントタイプから選択できるため、用語やパターンに基づいて複雑なデータ分類を最初から構築する必要がなくなります。

## MLベースのドキュメント分類の使用方法

- MLベースのドキュメント分類は、データ分類の作成時に組み込み識別子として使用できます。
- サポートされるすべてのMLベースの識別子は、データ分類の設定時に「ML組み込み識別子」セクションに表示されます。

| ML Built-in Identifiers                            |   |
|----------------------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> Consulting Agreement      | > |
| <input type="checkbox"/> CV/Resume                 | > |
| <input type="checkbox"/> IRS Forms                 | > |
| <input type="checkbox"/> Medical Power Of Attorney | > |
| <input type="checkbox"/> NDA                       | > |
| <input type="checkbox"/> Partnership Agreement     | > |
| <input type="checkbox"/> Stock                     | > |
| <input type="checkbox"/> US Patents                | > |

26221783199892

## サポートされるドキュメントタイプ

次の文書型に対して、MLベースの分類を使用できます。

- コンサルティング契約
- 履歴書
- IRSフォーム
- 医療委任状
- 機密保持契約(NDA)
- 組合契約
- 株式および米国特許

## サポートされる言語と地域

初期リリースでは、米国英語のドキュメントのみがサポートされます。今後のアップデートで追加の言語と地域がサポートされる予定です。

## マルチモードDLPのサポート

MLベースのドキュメント分類は、リアルタイムDLPとSaaS API DLPの両方で機能します。これは、[DLPでサポートされるすべてのファイルタイプ](#)と互換性があります。

## 関連するリソース

データ分類とDLPルールでMLベースのデータ識別子を使用する方法については、セキュアアクセスとUmbrellaに関するドキュメントを参照してください。

- セキュアなアクセス：[組み込みのデータ識別子](#)
- 包括：[組み込みデータ識別子](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。